

プレキャスト床版同士の鉄筋接合構造の合理化した継手構造です。

お客様のメリット

- PCa 床版設置作業が容易になり、現場生産性向上とともに工期短縮、コスト縮減が可能です。
- 新しい鉄筋継手構造により床版の設計自由度が向上します。

技術の特徴

Head-bar による鉄筋継手構造

Head-bar を用いた新しい鉄筋継手構造により、PCa 床版設置作業の作業性を改善しました。

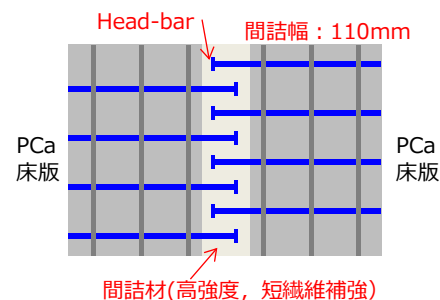
間詰め材の高強度化

間詰め材には高強度繊維補強モルタル(設計基準強度:97N/mm²)を適用し、間詰め部のせん断耐力を確保したことで、主鉄筋の応力が確実に伝達されます。

間詰め幅の短縮

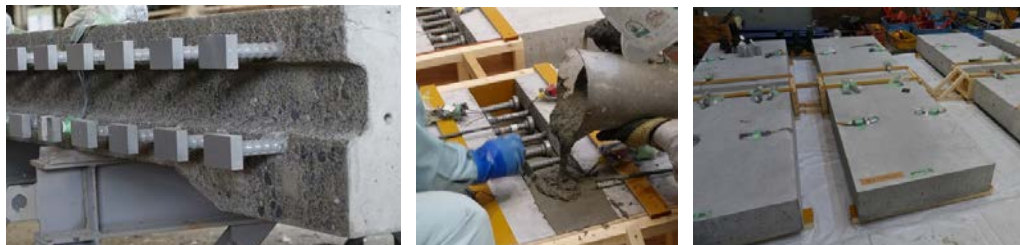
Head-bar の適用と間詰め材の高強度化により、隣接する PCa 床版間の間隔を 110mm 程度(従来は 300mm 程度)まで短縮することができます。

従来、継手部に配置していた軸直角方向鉄筋の省略が可能になり、間詰め材の現場施工量も大幅に低減することができます。



実績・事例

●試験体製作状況



●静的載荷実験

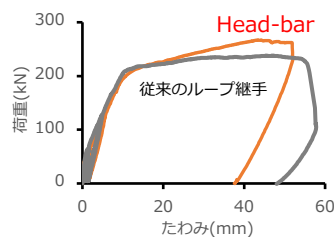
静的載荷実験の結果、Head-bar を用いた継手構造(間詰め幅 100mm)の耐力および部材剛性は、従来の継手構造(間詰め幅 340mm)の場合と同等以上であることが確認されました。



静的載荷実験状況

●輪荷重走行試験

「NEXCO 試験法 442-2019」に準じた輪荷重走行試験を行いました。水張り条件下では漏水は確認されず、また、輪荷重に対する疲労耐久性を確認しました。



荷重とたわみの関係



輪荷重走行試験状況

※2020年10月 NEXCO の性能証明取得済